



谷から水があふれ、床上・床下浸水が多発＝小坂町小坂町



国道 41 号の崩壊現場＝小坂町門坂



河川の増水により基礎部分が流失した家屋＝小坂町門坂

# 令和 2 年 7 月豪雨



令和2年7月3日から降り続いた大雨により、土砂崩れ・護岸崩落・家屋被害など、市内各所に甚大な被害をもたらしました。

7月8日には、飛騨川の水位が過去最大となる7.76mを記録、下呂市に「大雨特別警報」が発令されました。萩原観測所では、1時間の降水量71.5mm、降り始めからの降水量が769.5mmと観測史上最大級の記録的豪雨となりました。



土砂に覆われた道路=萩原町羽根



あふれた水と土砂に飲み込まれた家屋=萩原町羽根



冠水した国道41号アンダーパス=萩原町中呂



流れ出た土砂で埋まった家屋や道路=小坂町長瀬



土砂に覆われた線路=萩原町上呂



7月3日から降り続いた大雨により、下呂市では家屋被害198棟、道路や河川、橋梁への被害が21カ所と大きな被害が発生しましたが、幸いにも人的被害はありませんでした。

7月6日午前9時、大雨の恐れがあるとして、市内全域に「避難準備・高齢者等避難開始」を発令。市では、午後1時に「災害対策本部」を設置し、大雨による被害対応に当たりました。

午後4時30分から7日午後10時8分までに、萩原、小坂、馬瀬地域に「避難勧告」を発令。

8日の午前1時30分ごろには、時間降水量71.5ミリを観測し、上呂の観測点において飛騨川の水位が上昇、観測史上最高となる7.76メートルに達しました。これを受け、2時30分に市内全域の12156世帯31571人に「避難指示」を発令しました。

8日午前6時30分には、平成30年7月豪雨以来2度目となる「大雨特別警報」が発表されるなど、観測史上最大規模の記録的な豪雨となりました。

大雨が長時間続いたことで、河川が増水、各地において床上・床下浸水など家屋被害が多数発生しました。また、道路の冠水や土砂の流出、倒木などにより通行止めなどの被害が多数

発生しました。中でも、小坂町門坂地内では、国道41号が崩壊したことで道路が寸断され、これに伴いJR高山本線も飛騨小坂駅―渚駅間が運休となるなど交通機関にも大きな被害がありました。

避難情報発令時には、区長をはじめ、町内会長、消防団、地域のつながりにより、迅速な避難行動ができ、幸いにも人的被害はありませんでした。

### 被害状況（8月10日時点）

#### ◆避難状況

最大避難者（7月8日9時）

773世帯 1648人

受入避難所 72カ所

#### ◆家屋被害

全壊 4棟

半壊 23棟

床上浸水 13棟

床下浸水 157棟

#### ◆道路被害

9カ所

#### ◆河川被害

9カ所

#### ◆橋梁被害

3カ所

#### ◆農業関係被害

生産施設 111カ所

農地 154カ所

農業施設 66カ所

水産施設 2カ所